



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2020年9月1日

9 月 第223号

奈良・人と自然の会



<新入会員体験研修（果樹グループ）>



Contents



ホームページでは、**カラー**で見ることができます

URL <http://www.naranature.com>

壮春力歩	1	字遊字感	7
Monthly Repo ならやま	2	ならやま投句箱	8
里山の今、花だより	3・4	ならやまプロジェクト	9
病虫害講座	5	仲間入りしました・行事予告	10
私のふるさと	6	幹事会報告・編集後記	11



ストレス解消あれこれ

会長 鈴木 末一

男性が 81.25 歳、女性が 87.32 歳、今年も日本人の平均寿命は、過去最高を更新しました。男性 7 年連続、女性 6 年連続の更新です。長寿社会の深まりで、社会保障など幅広い分野の改革が求められています。

東大寺の狭川宗玄長老は今年 7 月 11 日、百寿を迎えられました。1300 年近い東大寺の歴史で、100 歳を迎えられた方は初めてだそうです。長老のご尊父、明俊・別当には 94 歳になられた時、「克己」の掲額を揮毫していただきました。ご縁があって長老とのお付き合いは半世紀近くになります。

長老は幼少のころ腸が弱く、毎日のように治療を受け、医者からは「10 歳ぐらいが寿命か」と言われたそうです。そのような病弱だった幼少期を乗り越えて、今や父の享年 96 歳を凌ぎ、長寿の秘訣を新聞で語っておられます。

- ① 暴飲暴食はしない。週に 1～2 回の肉食。お酒は 1 合ほど。腹八分目に。
- ② 最低 7 時間の睡眠。できれば 8 時間は取りたい。
- ③ ストレスをためない。
- ④ 好奇心を持ち続ける。

難しいのは、ストレスの解消でしょうか。今年は 100 年に一度ともいえる新型コロナウイルス感染症の問題が、全世界に襲来し、未だその勢いは収まらず、拡大の傾向が続いています。

そのような状況下で、各自治体は、不要不急の外出自粛を要請、さらには全国一斉の非常事態が宣言され、日常の生活スタイルを 180 度転換させねばならなくなりました。ためたくないストレスが押し寄せてきました。

私事で恐縮ですが、ストレス解消のために取り組んだことが三つあります。

一つは墨彩画もどきです。題材は幸せを呼ぶフクロウと七福神などです。

二つ目は知人に誘われて月 1 回の絵手紙「楽習会」に通っています。絵手紙作品の片隅を飾る印、つまり落款(らっかん)印というほど仰々しいものではありませんが、冠帽印、引首印、遊印などを押印することで、絵手紙に作者の情感がこもったものとなります。どのようなものがふさわしいのかネット検索でデータを集めています。

そして、三つ目には、絵手紙用の印から一歩進んだ篆刻(てんこく)へのチャレンジです。40 年程前、青田石や紅彩凍石などに蔵書印などを彫ったことがありました。時間的な余裕がなく、机の引き出しの中で眠ったままでした。改めて眺めてみて、よくぞ印刀で彫ったものだといながら感心しました。今では到底無理です。

石材とともにリノリウムもありましたが、とても堅くて彫るのには骨が折れそうです。そんな時に見つけたのが、消しゴムハンコです。世の中、便利な物があるものです。V 字形の彫刻刀 1 本と、百均で購入した細工用回転カッターで色々とチャレンジを始めました。漢字の始まりである篆書は、もともと絵でした。例えば子という字は子どもが手を挙げている形です。すべて古代の人が見たままの形を文字に封じ込めたのです。そして、古代文字で彫られると、なんだかすごいものに感じます。魔術的な神秘さを感じます。

きれいに彫るのではなく、そこに込められた情緒、古代からの息吹をいまに甦らせ、手のひらの中で楽しめる篆刻、しばらくの間、はまり続けたい。

最近の作(70 余り)はお見せするレベルではないけれど、旧作の蔵書印とともにカット代わりに押印してみました。



アマビエ



吾唯知足



Monthly Repo. **ならやま**

徳地 恵男

7月24日(金) 活動 曇り 40名

長梅雨の影響で振替活動となる。いつもより参加者が少なくちょっと寂しい。朝礼ではコロナ禍における今後の活動についての方針が示される。里山Gは里山林内の整理、下草刈り。エコGはサツマイモの蔓起こし、スイカ、マクワの保護を行う。景観GはBC周辺の草刈り整備、ビオ班は池の整備、花班は日ハンゲショウの撤去、草取りを行う。パトGは観察路の笹草刈り、水路工事は側壁の一部が完成した。果樹Gはブルーベリーの収穫や鹿よけネットの応急処置をする。



7月30日(木) 雨 56名 見学者1名
31日(金) 活動 晴れ 46名

30日は会員が集まるが激しい雨が降って活動中止となる。翌日の振替日は長かった梅雨が明けて久しぶりの青空の下での作業となる。里山Gは林内整理及び枝の整理、エコGは水田・



野菜畑の除草作業をする。景観Gは実りの森で草刈り作業、ビオ班は池の泥上げザリガニの駆除、花班は草取りとハナナスの日よけをつくる。パトGは2コース周辺笹草刈り、果樹班はブルーベリーの収穫をする。作業終了後各班倉庫内備品の点検整理を行う。

8月6日(木) 活動 晴れ 79名

近大生2名 見学者2名

夏空のならやまに81名が集う。朝の打ち合わせで熱中症への対応を確認。月初めの協働活動は里山Gと共に皆伐地区の下草刈りを行う。



苗木から育てたコナラはしっかりと根づき大きくなりつつある。エコGは畑へのチップ入れと施肥、景観Gは果樹Gと共に実りの森の草刈りに汗を流す。ビオ班はイベントの準備、花班は山野草園の草刈りを行う。昼にかけて気温は上がったが、こまめな休憩と水分補給で作業は順調に終わった。活動後、22日のGGイベントの準備打ち合わせを参加スタッフで行う。しかしコロナ感染の危険が高くなっておりイベントの実施ができなくなった。

* 8/13: 盆休み 8/20: 猛暑のため活動中止



里山グループ



景観グループ

◆今里山で繁茂する笹（ササ）の話

池田 信明

先日、里山の部分皆伐地区の笹刈りを半日実施したが笹の茂りにビックリ、休息している時、フト頭をよぎったのが笹の寿命のこと、花が咲くと枯れると聞いたことがある。伐採跡の植樹エリアが広がり林内に多くの日光が注ぐことで笹が茂り、今の笹に花が咲き枯れるのは60～120年後(不定期)に1度となれば、笹の花や、笹枯れ現象の観察はかなわないが、「笹」についての面白情報を少々ご紹介、受け売りですが。

「笹」と「竹」は見た目が似ていて同じ「単子葉植物イネ科タケ亜科」に属する植物群ですが、「笹」と「竹」は全く別の植物なのです。笹や竹がイネ科に属する理由は、咲いた花がイネの花によく似ているからとか。

*竹と笹の違いは。

- ①：竹は成長すると皮（鞘）は取れて落ちるが、笹は成長しても皮（鞘）は枯れるまで落ちず残る。
- ②：竹は節毎に出る枝は2本ずつ、笹は節毎に3本以上出る。
- ③：寿命は花の開花時期と同じ、竹の地下茎は60～120年、地上に出る竹の子は8～10年、笹は60～120年、竹も笹も開花すると枯れる。
- ④：竹は中国原産が多い（孟宗竹は250～300年前に日本に渡る）、笹は日本原産の植物で英語訳でも（S a s a）と表記される。
- ⑤：笹はクロロフィルを豊富に含むため、高い殺菌、防腐作用を持ち、笹団子やちまきなどを包むのに使う、また料理の敷き葉などに使われた。笹は日本人の日常生活に昔から深く根ざした植物、七夕の笹の葉飾りに利用したり、縁起の良いものとして利用したりされてきた。
- ⑥：笹の花言葉「ささやかな幸せ」。



◆草刈り隊のおじさん！ よろしく！

木村 裕

私は「ならやま」のツリガネニンジンです。ご存じですか？ 秋になると彩の森の片隅で青紫色の釣鐘型の花をいっぱいぶら下げて咲かせ、皆さま方に秋の風情を楽しんでもらっています。

しかし最近、仲良しの仲間たちがだんだん少なくなってきています。昨年まで近所で咲いていた別嬪さんも今年は姿を消してしまいました。仲間が減るのは寂しいですね。

直接的な原因は草刈り隊のオジサン方の勤勉な働きのせいです。



夏に生い茂った雑草（この言葉は私たち野の草花に対して失礼ですね）を少しでも減らそうと頑張っておられ、丈の高い草花がバッサリと根元から刈り取られます。私たちもやっと草丈が50cmとなりこれから花をといるときにとばっちりを受けています。

早春に花を咲かせる草丈の低いオオイヌノフグリさん、タンポポさん、ホトケノザさんなどはいつも思う存分に手足を伸ばしているようであらやましかぎりです。

最近、ワレモコウさんと同じようにのんびりと昼寝ができる安全地帯を一席設けてもらったようで感謝しています。もっと増やしてください！お願いします！

でも、好き放題に暴れまわっている丈の高い笹など刈り取ってくれれば、彼らの間で埋もれていた仲間たちにも太陽の恵みが届くようで、悪いことばかりではなく、良いこともたくさんあります。

パトロールグループ



花だより

◆パトロールグループの七つ道具

桜木 晴代

パトロールグループのパトロール班の活動は目につき難いですが、下の写真のような各種道具(手づくりを含む)等を使い、安全な観察路を維持、貴重な野草の保護等のため日々活動しています。(グループ誕生は第210号参照)



(メンテナンス班は別にあり)

- 一段目 パトロール時の必携品
- 二段目 右は、杭・丸太・麻紐など・左は
パトロール班の象徴的な逸品(私物)
- 三段目 杭打ち道具など
- 四段目 鎌と鎌カバー
(カバーはメンバーの家族の手作り)
- 五段目 名札・コース番号記入用ペンキなど

◆ドクダミ～白い追憶～

坪井 都子

梅雨時、ならやま第2コースの入口付近には見事にドクダミが咲き誇っていました。

○ドクダミ(葎草)学名; *Houttuynia cordata*
ドクダミ科ドクダミ属の多年草。湿地などに群生する。原産は東アジア・東南アジア。

○十薬(じゅうやく); ドクダミの独特の臭いの元になっているのはデカノイルーアセトアルデヒドという物質で、黄色ブドウ球菌や白癬菌等の細菌、又ある種のウイルスの活動を抑える力があり、傷口の止血や再生にも効果があるとされています。

優れた薬効を持ち、身近に沢山生えているドクダミは古くからゲンノショウコ、センブリと共に、



民間治療薬として盛んに用いられてきました。煎じた汁は風邪や便秘や高血圧の予防に、火で炙って傷やおできに、鼻腔に詰めれば蓄膿症に効くと、まさに万能薬です。江戸時代の儒学者・本草学者である貝原益軒は、[大和本草]で「十種ノ薬ノ能アリトテ、十薬ト号ス…」と書いています。なおドクダミという和名は「毒を矯(た)める・止める」の意味をもつとか。

ちなみに4枚の花弁はじつは総苞片で、中心の円柱状の花序に微細な薄黄色の花を密生させ、花弁も萼もありません。

○その他の利用

- ・どくだみ茶(因みに爽健美茶の主原料)
 - ・観賞用(斑入りの品種や八重咲きを)
 - ・食用(葉を山菜として天ぷらに、食糧難の時代に地中の根茎をデンプン摂取として)
- ドクダミはすぐ身近にあり、十薬として昔から役立ってきた野草、改めて愛おしく感じます。

やさしい病害虫講座 37 トマト-2

木村 裕

家庭菜園で栽培するトマトでは、害虫の被害が目立ちます。一方ハウスで栽培が主流となる農家栽培では病気もかなり問題になります。

【アブラムシ類】(病害虫講座—15 参照)

植えた直後の苗の頃によく発生します。赤褐色や緑色の小さな虫で新芽やその近くの葉の裏に群がって汁を吸います。発生が多いと葉は縮れ、排せつ物が付着してテカテカと光ります。少しなら指でつぶし、葉が縮れるほどに多いときには薬剤散布をします。この虫は暑さが苦手、暑くなると姿を消します。

【ナミハダニ】

最も厄介で重要な害虫です。体が非常に小さいうえに体色も淡黄緑色のため、みなさんでは見つけることは困難でしょう。ルーペ(拡大鏡)を使えて事前にダニがどんな虫で、どんな卵を産むかを知っていれば難しくはないのですが。

最初は1枚か2枚の葉にぼんやりとした黄色～褐色の5mm前後の斑紋が現れます。少し被害が進むと黒褐色の斑紋となり、同一の葉にいくつかの斑紋が現れ、しだいに葉が枯れ始めます。まるで病気に罹った葉のような感じです。私もこれにだまされました。被害葉とその周りの葉の裏をねらってハダニ用の薬剤(ダニ太郎)を散布することです。通常の殺虫剤散布は効果がないばかりか有益な天敵を殺しますので最悪です。怪しい葉1枚で診断できますのでご持参ください。



疫病や輪紋病もこのような斑紋を生じます
が、雨が何日も降り続かないかぎり家庭菜園ではまず発生しないでしょう。



【オオタバコガ】(病害虫講座—15 参照)

果実に孔をあけてアオムシが食い込んで黄色の虫糞をいっぱい排出します。虫の食入した果実ごとちぎって処分します。

【トマトサビダニ】(病害虫講座—15 参照)

先端に近い新しい茎の表面が褐色になったり、果実の表面が褐色になったりします。犯人の虫は小さくて見えません。無農薬栽培するとよく発生します。薬剤には弱いので手持ちの薬剤を散布してください。

【マメハモグリバエ】

葉に曲がりくねった白い筋が現れます。これは葉の中をハエのウジがトンネルを掘るように食ったためです。ひどくなると一枚の葉に数十匹の虫が住み着くために葉全体が白くなります。このようになると、株全体が衰弱して実のなりも悪く



なります。発生初期に殺虫剤を散布しましょう。

【ネコブセンチュウ】

根に白い根こぶができることがあります。発生が多いと株の勢いが衰えて実のなりも悪くなりますので、過去にキュウリなどでこの被害が現れた畑では、マリーゴールドを株もとに植えこんでおくと予防効果があります。



私のふるさと

木村 宥子

2011年は東北を大震災と原発の爆発が襲った年。仙台には私の実家があった。住む者もなくなった家は震災の直前に取り壊してあった。

しかしもちろん、友人知人はたくさんおり、テレビや新聞で報じられる東北の様子は、どう想像したらよいか・・・恐怖としかいいようがなかった。みんなどうなっているのだろうか？道路も鉄道も寸断されているという。仙台の郊外に当たる荒浜にはすごい数の遺体が見られるという。もしかしたら荒浜の彼女もその中にいるのでは？若林区一帯は海の水がさかのぼってきているという。親友のMさんの家は若林区だが・・・等々と。

私は知人の市議員に電話をした。議員なら情報が入っているだろうし、彼の家は高台だから水は来ていないだろうと思ったから。幸い電話が通じ、まだ被害の実態は分からないが、彼自身は家の中がめちゃくちゃになっただけでそれ以上の被害はなく、ある程度の必要な活動はできている。家はガス以外、水も電気も問題ないという。地震の直前、家中オール電化にしていたため風呂が沸かせるので、朝から近隣の被災した人々に風呂を提供しているという。

そこで彼を通じて必要な品物を集めて届けることにした。彼は毎日「〇〇とXXが必要な人がいる」「どこそこでこんなことが起きている」などと連絡をくれた。私は友人知人に頼んで、必要な物資を提供してもらって送った。「奈良・人と自然の会」の方々にもずいぶん協力していただいた。心からありがたく感謝申し上げます。協力してくださる方の輪が広がり、最終的に私だけで段ボール箱約40個、皆さんが送ってくれたものを含めるといくつになるのだろうか。現地でもそれらを必要なところに配分してくれ、ちゃんと役に立ったようである。同時に彼の情報を新聞にして皆さんに読んでもらった。これ

は考えた以上に東北と奈良をつなぐのに役に立った。

私は今も毎年3月になると三陸のわかめを共同購入している。「奈良・人と自然の会」の方々にもたくさん買っていていただいているが、初めは気仙沼湾で養殖をしていたSさんのわかめだった。しかしこの震災で気仙沼湾は大火に包まれ、Sさんは4隻あった船を全部失い廃業を決めた。共同購入は養殖業に携わる方々の支援を兼ねて今も続いている。

私が仙台に帰れたのは震災から1年以上たってからだった。帰るのがどうにも怖かったのだ。仙台はさすがに生活も元に戻りつつあったが、石巻、気仙沼あたりは、まだ家に船が突き刺さったままだったり、海の中に老人施設が沈んでいたりだった。そこにいた人たちが今もそのままいるのではないかと錯覚するような光景があった。仙台から海岸線を南下、山元町に入ると海辺にはすばらしい小学校がある。教室は海に向かって大きく窓があり、こんな所で勉強したらどんなに気持ちがいいだろうと思われた。しかし一階には大量の砂、体育館の天窗を突き破って松の大木が根を付けたまま突っ込んでいた。山元町を過ぎたあたりに通行禁止の看板があった。そこから先は原発の汚染地域になるのだ。

別の機会に福島県飯舘村を訪れた。原発からは遠く離れているのに高濃度汚染地域になった村だ。ちょうど政府によって田の除染(?)がされていた。防護服の作業員が、田を40cmほど掘り返して裏返しにするという。放射能は30cmしかしみ込まないし、稲の根の深さは6cmだから、40cm裏返せばまた稲作ができるという理屈だ。しかし2年後、その田は放棄されていた。

女川町から奇跡的に電源喪失を免れた原発、女川原発へ向かう山道には大きな岩が多い。そのうちの一つに、海に向けて般若心経が大書されていた。それは怒りと祈りを込めた嵐のような文字であった。



心で見る歌劇

岡田 安弘

オペラ作曲家の尾上和彦(78)と知り合って30余年。当時、南都銀行頭取で、奈良の文化活動に力を尽くした故・阪本龍児さんが紹介してくれた。尾上は「主役のホテル代までは賄いきれない。家に泊めることにする」と自宅を新築、あやめ池の賃貸住宅から引っ越した。阪本さんと祝いに行く。新居は彼の祖父の故郷、都祁村への古道に沿っていた。

「子供のころ、ピアノがある祖父の家で育った。楽譜が読めるでなし、我流で簡単な曲をつくり、繰り返し弾くうちに独習の要領がつかめた」。近鉄奈良駅に近い椿井市場のパブ「夢吉」で盃を交わしながら思い出話を聞く。

中学の吹奏楽部でピアノを弾きこなす。京都市立堀川高校の音楽コース作曲科で恩師に出会った。恩師はテレビやラジオ番組の作曲も請け負っていた。早熟な才能に目をつけ、仕上がった譜面を楽団のパート別に書き分ける仕事を手伝わせる。「おかげで作曲から演奏までの全過程が見えてきた」と話す。

各地の公演に海外公演が加わり、会えない時期があった。夢吉が平成最後の4月30日に店を閉じた時、久々に電話をくれた。「行き場を失って困っているだろう」と笑う。

17歳で初作品「私は広島を証言する」を発表。原爆詩人・栗原貞子の詩を合唱曲にした。著名な合唱団の定期演奏会で初演されて以来、関西芸術座など劇団からの作曲依頼が相次ぐ。映画監督の山本薩夫から名画「ドレイ工場」の曲を任されたのは25歳。

「ヒロシマ」にこだわった。オラトリオ「鳥の歌」は「8月の祈り」と題して演奏するのが定例。今夏が第35回。残念ながらコロナ禍で合唱練習ができず、来夏に持ち越す。

フォークソングの「竹田の子守歌」が尾上の作というのは、あまり知られていない。東京芸術座の全国公演「橋のない川」の舞台音楽を依頼され、構想を練るため訪れた京都で、歌い継がれていた子守歌に出合う。劇中音楽に書き換えたのがヒットした。

後年は仏教と日本の古典文学をテーマに和魂洋才の志向を強める。伝統的な仏教音楽を学び、オペラ「仏陀」は各地の寺院などで上演が続く。古典文学では源氏物語に取り組む。代表作のオペラ「月の影」は初演から10年、書き始めて17年。納得いくまで譜面を改作。近く名古屋二期会によって披露される予定だ。

兵庫県立芸術文化センターでオペラ「藤戸」を観賞した時、楽屋を訪問した。相変わらずペンで片手にシナリオと譜面を睨みつけていた。舞台は瀬戸内の児島。小舟がたゆとうようなしらべ。尾上の豊かな感性は、有吉佐和子描く源平争乱の世界に連れて行ってくれた。

▽

平氏の水軍を攻めあぐねる源氏の武将、佐々木盛綱。馬で渡れる浅瀬を漁師の子から聞き出す。秘策がもれないよう、盛綱は漁師の子を刺殺。高まる旋律。重い波が崩れ落ちるような母親の怒りの独唱。盛綱は猛々しく歌い返す。「これで二度と戦は起こらぬ」。母は一步も引かない。盛綱は突然、ひれ伏し「仇を討て」と刀を差し出す。母は「おぬしを殺しても我が子は還らぬ」と嘆く。

米国公演で、全米国際オペラ協会が「世界の一級品」と称賛。欧州公演では「心で観るオペラ」と評価された作品だ。あらためて戦争の愚かさを胸に刻む。

その日、TVはウクライナ政府軍と親ロシア派の内戦激化を伝えていた。ウクライナの老婆の顔に刻まれる深いしわ。「平和以外、何もいない」。ポツリと語る老婆。息子を殺された瀬戸の母親の声に重なった。

ならやまトーク・投句

夏・初秋編

鉄洗ふせせらぎ速し梅雨晴間

藤原 勲

(久しぶりの梅雨晴れ間、畑が待っている。仕事を終えて鉄を洗いながら木陰で一息つく。水量を増した流れの音が心地よい)

くんなか

国中は湖面とまがう代田かな

笠井文夫

(笠井さんの初投句。のびやかな悠然たる句調が良い。代掻きを済ませた田圃。高所から眺めると、光つて一面の湖の如しと詠む)

夏雲湧き我々たる劔天を切る

つるぎ

中井 弘

(夏山の記憶。大日岳から見た劔岳が真つ青な空を切裂いて立っていた。添付された写真がまた迫力満点、素晴らしい作品でした)

緑陰に肌も染まりて磨崖仏

藤原 勲

(当尾の里、唐臼の壺の先に阿弥陀如来座像と地藏菩薩立像の磨崖仏。石仏の背後には夏木立が被さり、仏を緑に染める。爽やかな一句)

胸反らせ弾ける校歌雲の峰

藤原 勲

(この夏一試合だけの高校野球交流試合。万感を込め校歌を絶唱)

夕されば蟬の羽月と浴衣出し

坂東久平

(蟬の羽月とは、旧暦6月のこと。蟬の羽のような薄い衣に変える季節とか。それにしても、浴衣を着る機会も少なくなつた)

梅雨空や呼吸機拒み友の逝く

岡田安弘

(友人がコロナの犠牲になった。人工呼吸器を見て、体裁が悪いと拒んで旅立った)

酷暑にも畦草伸びる速きこと

鈴木末一

(史上最高の暑さ、畦草との闘いが続く。刈つても刈つても、追いついてくる夏草の逞しさ。農とは草との闘いというけれど)

夏草を刈るキノパンの草木染

古川祐司

(旺然と伸びた夏草に奮闘2時間、粋なキノパンは鮮やかな草木染に仕上がるのだ)

わら

三密を嗤ふが如し蟬時雨

ハ木 順一

(7年の地中生活が終わった。地上は夏の晴れ舞台、皆集まれ、唄え)

盆休み畔に忘れし捕虫網

ハ木 順一

(孫たちの里帰り、ワツとやつて来て、あつという間に帰った。その残像！)

ねぐら

6万羽ツバメ渦巻き罅入り

鈴木末一

(平城宮跡の芦原、八月中旬夕暮れ。6万羽の燕が罅入り。まさに壮観)

我慢して小さいマスク秋近し

岡田安弘

(ただ一人のアベノマスク愛用者。とうとう大きいサイズに変えましたね)

ならやまに折々の人盆の月

古川祐司

(盂蘭盆の宵、縁のあった方々を偲ぶ。Hさん、Nさん、Kさん、Tさん……みんな、あの日のならやまの景色の中、温顔が甦る)

ならやまプロジェクト

明るく 楽しく 無理をせず

活動日： 毎週木曜日 9:00~15:00 (10日まで夏時間)

(前日水曜日、19時前のNHKTV天気予報にて午前中の降雨確率

60%以上の場合は翌金曜日、木曜日の同予報も同様であれば金曜日中止)

場 所： 奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約16haの里山林地

アクセス： JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩10分

または、奈良交通バス亭「佐保台西口」又は「平城大橋」から徒歩7分

携行品など： 弁当、飲み物、軍手(作業用具は現地で用意) コップなど

お問い合わせ： 富井



9月の活動について

3日・10日： 夏時間(8:00~12:00)

17日： 全日活動(9:00~15:00)

24日： 備品点検日

9月 各グループ活動予定

グループ	活 動 予 定
里 山	部分皆伐地区下草刈り／里山林内の整理／(水路改修)／マキ割り／下草刈り ユート:実験区の笹刈り／松林の笹刈り／松山平の笹・シダ刈り
エコファーム 臨時活動を 予定	ニンニク畝作り／白菜種蒔き／各種野菜畑の畝作り／大根種まき YRくらま、丸大根、小カブ、紅心大根、漬物用大根／日野菜／ニンニク植え付け／各種種蒔き、大和マナ、菜花、ほうれん草、春菊、タマネギ、レタス、チンゲン菜、水菜、壬生菜
景 観	整備：佐保自然の森・彩りの森・ベースキャンプ周辺草刈り整備 ミツバチ巣箱周辺草刈り ビオ：水生生物調査／池・水路整備 花：山野草園草取り／葉牡丹の畑作りと苗移植／日陰植物園の剪定と草取り／春花の畑作りと種蒔き
パトロール	ミーティング、観察路整備・笹草刈り／水路改修工事／BC 横竹林への橋改修／笹草刈り、丸太階段補修、安全ロープ コース：4-1-2-3
果 樹	実りの森の除草／ブルーベリーへの灌水／イチジク畑の除草と灌水・収穫 栗の収穫

仲間入りしました



難波 玲子

シニア自然大学校を昨年3月に卒業し、このたび入会させていただきました。一度見学にお誘いいただき訪れたところ、このすてきな風景に一目で魅了され、会員の皆さまに親切にしてくださいとすぐに入会を決めました。

大阪市内の全く自然のない所で生まれ育ちましたので、自然に対する憧れが強く、自然溢れるこの地で束の間でも過ごすことができればうれしく思います。

無知な私ですが、いろいろなことを知り、たくさんのかんことを経験したく、皆さまにご指導のほどよろしくお願いいたします。

野中 育子

五年ほど前に、山登りにご縁をいただいて今に至っております。

山に登り、自然を感じながらの1日もとても大好きな時間なのですが、自然大好きな私にとって、日常生活においても自然に接したいと思いこの会に加入させていただきました。

皆さまと関わりを持ちながら、大好きな自然を楽しみたいと思います。

よろしくお願いいたします。

枇杷原 満喜

12年前より山登りに行くようになり、ひざ関節症の足を少しでも強くするため、週2回くらい平城宮跡散歩していた時、いつも通り里山の手前、24号線を越えるトンネルのところで目に止まった「里山プロジェクト」の案内板～何かかなと思ひ左へ行くと大勢の方がそれぞれ仕事をしているところでした。

幼少の頃より母の故郷、高知県中村市(現)四万十市に生まれ、両親の都合で父の実家、大阪と行ったり来たり生活でした。

子どもも手が離れ、主人の希望で四万十市に移住～四万十川、海から4kの川の傍に家を構えたものの、主人が病に倒れ60才でいなくなりました。母の田舎での生活が身につき、食べることにこだわり今に至っています。

子どもの頃、川あり山あり田舎の風景の中、真赤な赤トンボを追いかけた記憶を大切に、里山とのご縁に感謝して参加したいと思っています。よろしくお願いいたします。

山上 伸子

緑豊かな奈良に引っ越してきて25年余になります。山歩きが趣味で自然に親しむ活動を始めたいと思っていた矢先、山中でばったり出会った知人にこの会のことを教えてもらいました。

早速連絡すると丁寧なご説明をいただき見学もウエルカムとのこと、翌週には道に迷いながらもベースキャンプに到着、役員の方の熱心かつ巧みな話術と、会の方々がいきいきと活動しておられる様子を拝見して、気がつけば入会申込書を提出していました。皆さまに教えていただきながら、もっと自然を学びたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。



10月ならやま活動&行事予告

* ならやま活動(木)

1日 協働活動日・アダプトプログラム

15日 佐保台小 稲刈り

22日 佐保台小 稲脱穀

24日(土) 芋掘りイベント 予備日 25日

* 自然教室

26日(月) 秋の奈良公園 自然観察会

* 山もり・てんこ森イベント

18日(日) 森林技術センター

2020年8月度幹事会報告

日時：7月28日(火) 14:00～16:40

場所：奈良市中部公民館 4F 第2講座室

参加者 18名、欠席者 3名

議事：

I 会長挨拶：コロナの第2波への注意喚起。

II 会計、総務部より

1. 会員動向：会員数 174 名変化なし。

2. 会計報告：特段の問題なし。助成金の会計管理について再確認する。

III 活動・行事関係

1. ならやまプロジェクト関係

・緑陰広場水路移設工事、パト G への応援を。

・8/22 里山で遊ぼう②イベントの実施。

・里山研修会 9～10 月頃開催を企画したい。

2. 里山で遊ぼう②(8/22)：会報誌案内のとおり。

3. 山もり・てんこ森(10/18)：縮小して出展。

IV 企画、助成金関係

1. ならやま鳥瞰図の作成・掲示を検討中。

2. 助成金・交付金事業は、一定の計画に縛られ負担になることもあるが、会の活動に必要であり今後とも申請・獲得を目指すことを確認。

V 提案事項

・「明るく、楽しく、無理をせず」は健康・安全面を考慮した標語であり、会の活動への協力をしなくていいという意味ではない。「力合わせて」は基本であることを確認。

・会報誌には企業名は原則不掲載とするが、個別事情を考慮し三役合意すれば掲載する。

・コロナ対策としてフェースシールドをならやま活動参加者全員に配布。

VI 月例研修、自然観察会、歴文関係

当面の活動は中止または延期

・月例研修：次回は 11/2 で予定

・自然観察会：次回は 10/26 で予定

・歴文：9/15 蘇我氏Ⅱは中止、部屋北遺跡は来年 2/24、物部氏Ⅱは来年 3/10 に延期。

※次回：9月29日(火) 中部公民館 14:00～

以上



＜どうなる？＞

全世界の人々は、2020 年がこんなに新型コロナウイルスに振り回されるとは思ってもみなかったことだろう。今頃は世界中がオリンピックで盛り上がっていたはずなのに・・・。

春のいい季節に自粛を強いられ、長期の「おうち時間」を過ごすことになった。家中掃除するしかない。普段開けることのない天袋、押し入れの奥、物置・・・不要品がいっぱい。写真や手紙類も大きな箱に入れたままにしている。一枚一枚仕分けして、残す、処分する、迷う・・・。

古い手紙を読み返すと両親から孫たちへの手紙が一番多い。一通一通封筒から出して読み返す。父は達筆で文章もうまい。いつも健康を気遣ってくれていた。これはいつか子どもたちに「おじいちゃんからの手紙やで」と渡してやろう。コロナ片付けのおかげで、何十年も前の両親の手紙(字)を見ることで、親の気持ちに触れることができ、鼻の奥がツンとしてくる、とても捨てられない。

振り返って我が身を見ると、すっかりスマホの便利さに慣れてしまい、スマホで用を済ませ、我が孫たちに手紙を書くこともほとんどなくなった。きれいな活字で個性もなく、長々と文章を書かなくても絵文字一つで用が済むこともある。そしてすぐに消えていく。

孫たちは何十年も前の手紙を読んで胸が熱くなることもないだろう。コロナといいスマホといい、これからの新しい生活はどうなっていくのだろう。

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

＜表紙写真＞新入会員体験研修の一場面

会の歴史にも触れながらの果樹グループの活動について、古川参与の話に耳を傾ける新入会員。このあと刈払い機などにも挑戦。